| 学校番号 | 3030 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 言語文化 | 単位数 | ３単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「言語文化」（数研出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 「読んで見て覚える　古文攻略マストアイテム７６〈改訂版〉」（桐原書店）「新精選　古典文法　三訂版」（東京書籍）「精説　漢文　改訂版」（いいずな書店）「トータルサポート新国語便覧　改訂版」（大修館書店）「グランステップ　古典（古文・漢文）１．５」（尚文出版）「三訂版　プログレス　漢文総演習　基本編」（いいずな書店）「基礎古文　大学入学共通テスト対策　新装二版」（尚文出版） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働して考える活動を中心とします。
・「書く能力」、「読む能力」をバランスよく身につけ、様々な文章に触れる中で自ら古文が読めるように、基礎力を磨いてください。
・課題等は Google　classroom 等を通じて提示することが多いので、確認を怠らないようにするとともに、真摯に取り組んで応用力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 生涯にわたる社会生活において必要な国語の知識や技能について理解し、それを適切に使うことができる。 | ・「書くこと」の領域において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味し、表現したいことを明確にするとともに、その思いが明確に伝わるように構成や展開など表現の仕方を工夫している。<br>・「読むこと」の領域において、文章の内容や展開などについて叙述を基に的確にとらえ、その中に表れているものの見方や感じ方を捉えて内容を解釈するとともに、我が国の言語文化について自分の考えを持つことができている。 | 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 作品について、叙述に加えその文化的な背景をもとに正しく解釈できる<br>［教材］<br>説話『宇治拾遺物語』<br>「児のそら寝」「絵仏師良秀」<br>近代小説『羅生門』<br>故事成語<br>「漁夫之利」「矛盾」「狐借虎威」 | a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解するとともに、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるとともに、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。<br>c：小説や古典の基礎的な読み方を理解しようとしているとともに、言葉がもつ価値への認識を深めている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 様々なジャンルの作品を読んでものの見方や感じ方を深められる<br>［教材］<br>随筆『徒然草』<br>物語『伊勢物語』<br>史伝「先従隗始」「鶏口牛後」 | a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>b[読]：作品や文章の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。<br>c：作品や文章の成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| 後期 | 作品の解釈を踏まえて言語文化について自分事として考えられる<br>［教材］<br>近代小説『城の崎にて』<br>日記『土佐日記』<br>随筆『枕草子』<br>文章『雑説』<br>漢詩(中国の詩・日本の詩) | a：時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。<br>b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つことができている。<br>c：様々なジャンルの作品に触れ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |
| | 授業で学んだ作品を通じて得た知見を基に、今までの経験や体験を関連させてテーマに沿う題材を集め、感じたことや発見したことを書くことができる<br>［教材］<br>紀行『奥の細道』<br>軍記物語『平家物語』<br>思想『論語』『孟子』 | a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使える。<br>b[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味し、表現したいことを明確にするとともに、その思いが明確に伝わるように構成や展開など表現の仕方を工夫している。<br>c：文章を参考にして自身の体験を言語化し、より良い文章になるように粘り強く取り組もうとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>ワークシート | ワークシート<br>振り返りシート |

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　―　　）時間

・書くこと　…　（　　１０　　）時間

・読むこと　…　（　　９５　　）時間